

## 熱海・伊東地域豪雨災害減災協議会 議事要旨

1 日 時 平成 29 年 3 月 14 日 (火) 15:00~16:30

2 会 場 熱海市浄水管理センター 2 階会議室

3 出席者

[幹事会構成員]

熱海市長、伊東市副市長 (代理出席)、気象庁静岡地方気象台台長、国土交通省中部地方整備局河川部地域河川課河川保全専門官 (代理出席)、静岡県危機管理部危機対策課課長 (代理出席)、静岡県東部危機管理局副局長 (代理出席)、静岡県交通基盤部河川砂防局局長、静岡県熱海土木事務所所長

[事務局]

静岡県河川企画課、静岡県土木防災課、静岡県熱海土木事務所

4 議 事

- (1) 熱海・伊東地域豪雨災害減災協議会設立の背景、目的及び規約について
- (2) スケジュールについて
- (3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有について
- (4) 減災目標と目標達成に向けた取組について
- (5) その他

5 議事概要

- (1) 減災協議会規約 (案) について
  - ・減災協議会規約 (案) について確認し、了解を得た。
- (2) スケジュールについて
  - ・スケジュールについて確認し、了解を得た。
- (3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有について説明
- (4) 減災目標と目標達成に向けた取組について説明

【出席者の主な発言内容】

[協議会構成員]

- ・千歳川について神奈川県側の連携や調整等について教えてほしい。

[事務局]

- ・神奈川県と情報共有を行い、幹事会で報告しながら進めていく。

[協議会構成員]

- ・熱海市側では、糸川、初川、和田川と河川整備計画を順次作成している。引き続きハード対策とソフト対策を充実させていく。

〔協議会構成員〕

- ・国で新しい避難判断マニュアルのガイドラインが策定された。
- ・注意報警報等で流域雨量指数を使用する。

〔協議会構成員〕

- ・避難計画で災害ごとの避難所がわかりにくいとの指摘を受けている。
- ・幹事会でも考慮して頂きたい。

〔協議会構成員〕

- ・災害があった時は必ずしも避難所に行くことがベストではない。
- ・自らのいる場所で安全を確保すること。
- ・市民への防災意識の啓蒙や学習が大切である。

〔協議会構成員〕

- ・県から市への情報収集要員について「派遣の検討」ではなく「派遣」としていただきたい。

〔協議会構成員〕

- ・不要という市町もある中で、どういう人間が求められるか、県として何ができるか幹事会を通じて検討していきたい。

〔協議会構成員〕

- ・H27 関東東北豪雨の線状降水帯は最初伊豆半島付近で形成された。
- ・過去の災害は忘れてしまいがち。普及啓発を行っていきたい。

〔協議会構成員〕

- ・熱海・伊東には有事の際には沼津河川国道事務所からリエゾンを派遣することとなっている。訓練の時は特殊車両等協力でき、啓発にもつながるので相談いただきたい。

〔協議会構成員〕

- ・基礎自治体は災害の際には地元の建設会社をお願いするのが精一杯であり、応急処置や技術力において、県や国をお願いすることがある。どれだけ早く助けに来てくれるか心配である。

〔協議会構成員〕

- ・この協議会を使ってネットワークができるようになればいい。

〔協議会構成員〕

- ・今年の5月に狩野川で水防演習が行われる。